

- ◆ 熊本県にとって望ましい公共交通の姿を明らかにする「マスタープラン」として、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」等に基づき、県・市町村・交通事業者等と協議のうえ、策定するもの。(国の補助を受ける場合には対象となる系統等を本計画に位置付ける必要あり。)
- ◆ 現行計画(令和3年度～令和7年度)の期間満了に伴い、現行計画において不足していた「各モードに求められるサービス水準の設定」や「異なるモード間の連携」、「行政による投資方針」の観点を明確化するほか、『くまもと新時代共創基本方針・総合戦略』に位置付けられた渋滞解消や地域の移動手段の確保、「交通連合」の実現に係る取り組み等を反映し、新たな計画としてとりまとめるもの。

**対象地域** 熊本県全域  
※県域をまたいで運行する鉄道、路線バス等については関連する県と連携。

**計画期間** 令和8年4月～令和13年3月(5年間)

## 将来の地域社会のビジョンと目指す公共交通網の姿～「くまもと新時代共創基本方針・総合戦略」との関係～

### ①こどもたちが笑顔で育つ熊本

- こども・若者が不自由なく通学・通勤でき、子育て世代も安心して利用できる公共交通
- 障がいの有無、年齢等の違いに関わらず、全ての人が円滑に移動できる公共交通

### ②世界に開かれた活力あふれる熊本

- 製造業や農林畜水産業等の成長や渋滞の解消に資する、人やビジネス等のスムーズな交流を支える公共交通
- 国内外の観光客の多様なニーズに応え、県内の各地に訪れることができる公共交通

### ③いつまでも続く豊かな熊本

- 人口減少が見込まれる中でも、将来にわたって安定的かつ継続的に利用できる公共交通
- 熊本の宝である自然環境にも優しく、魅力ある地域づくりの土台となる公共交通

交通の利便性・持続可能性を高め、誰一人取り残されず、マイカーに頼らずに、行きたいときに、行きたいところへ不自由なくアクセスできる社会

## 計画の目標

- 各類型について、それぞれ以下のサービス水準を実現することを目標とする。

### 都市圏幹線

- 「車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍」の実現に向けて公共交通への転換を促すべく、終日ダイヤを意識せずに移動できる水準の運行

● 便/日

### 地域幹線

- 通学・通勤需要を満たすべく、朝夕を中心に不便を感じない水準の運行

● 便/日  
※朝夕の時間帯は●分毎

### コミュニティ

- 日常生活に必要な機能(商業、医療、教育等)に適時にアクセスできる環境の整備(各地域のニーズや生活圏を踏まえた目標を設定)

● 便/日  
又は  
●分以内配車

- 併せて、次期計画期間中に、県の支援の下、各地域において関係市町村、事業者、住民等で協議し、路線別のサービス水準を設定する想定。

## KGI・KPI

### KGI

公共交通分担率 : 2倍  
各市町村が設定する交通空白地の数 : 0

### KPI

公共交通のサービス水準(ゾーン・モード別) :  
公共交通に従事する運転士数(専業、兼業別) :  
交通事業者保有車両の平均車齢(モード別) :  
公共交通に対する公的資金投入額(5年間の累積) :  
県内路線における九州MaaSチケットの利用者数(販売数):  
公共交通に対する満足度 :

## 計画の基本的な方針

**①**  
県内の既存の  
交通資源の総点検と  
最高効率での  
活用の追求

- 県内の活用可能な既存の車両等をすべて洗い出し、情報を整理する
- 目標の実現に向けて、事業者や業界の垣根を越えた資源の融通をはじめ、資源の最高効率での活用を追求する

**②**  
投資による  
供給力の強化、  
利便性及び  
持続可能性の向上

- 交通基盤や人材、新技術等に対する投資を通じて「負のスパイラル」からの脱却を図り、既存の資源では不足する供給力の強化、さらなる利便性や持続可能性の向上を図る

**③**  
上記の実現に  
向けた公共交通の  
運営体制等の整備、  
必要な財源の確保

- 上記の取組みを戦略的に推進するための運営及び支援体制を整備する
- 上記の投資を安定的に実施するための財源確保の方策を検討する

## 目標達成のために実施する事業のイメージ

- 県内交通事業者の車両・人員等の保有・運用状況の確認
- 行政、福祉、教育機関等が保有する車両の確認
- あらゆる交通モードに関するデータベースの整理

- 幹線・コミュニティ交通の分類の精査とダウンサイジング指標の設定
- 各交通モードの位置づけや役割分担の再精査

- 複数路線間・モード間におけるダウンサイジング・利便性向上の取組み支援
- 共同経営の深化(車両・人員・営業所等の共有化、運用の標準化等)
- 異業種間での共創の推進

- 幹線バスの利便性向上に向けた公的支援
- コミュニティ交通の導入や利便性向上に向けた公的支援

- 南阿蘇鉄道、くま川鉄道、肥薩おれんじ鉄道の再構築の推進
- JR肥薩線の復興の推進
- JR豊肥本線の輸送力強化
- 空港アクセス鉄道の整備の推進

- 都市圏の渋滞解消に向けた施策の推進  
(セミコンテクノパーク周辺の路線新設、バス専用レーンの整備、公共交通の利用促進等)

- 運転士等の人材確保及び待遇改善に関する支援  
(執務環境の改善、県外からの移住者の雇用、採用イベント、兼業の解禁等に対する支援)

- 自動運転技術や新たな移動サービスの導入に向けた検討
- 「九州MaaS」のチケット造成の推進と県内交通のサブスク化の検討

- 共同経営の深化(再掲)
- 交通連合の創設に向けた制度設計の推進

- 市町村の交通施策への伴走支援(路線別のサービス水準の設定支援を含む)
- 市町村の担当職員の公共交通に係る知識やノウハウの向上、人材育成支援

- 交通税等の公共交通運営のための財源確保策の調査・研究